

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年8月3日（月）

2 確認箇所

- ・瓦礫類一時保管エリアN（図1）
- ・瓦礫類一時保管エリアDD（図1）
- ・Eタンクエリア（図1）

3 確認項目

- （1）瓦礫類一時保管エリアNの状況
- （2）瓦礫類一時保管エリアDDの状況
- （3）Eタンクエリアの状況

4 確認結果の概要

（1）瓦礫類一時保管エリアNの状況

東京電力は水処理二次廃棄物及び再利用・再使用対象を除く全ての固体廃棄物の屋外における一時保管を令和10年度中に解消することを目指している。その一環として、瓦礫類一時保管エリアN（以下「エリアN」という。）においてノッチタンクに保管されている汚染土壌*を別の保管容器に入れ替え、固体廃棄物貯蔵庫へ運搬する計画としている。

昨年6月末からエリアNでの作業が開始されたことを受け、県では汚染土壌の入れ替え作業の状況を適宜確認しており、今回、作業の進捗状況及び安全対策の実施状況等について、前回に引き続き確認を行った。（前回確認：[令和8年5月21日](#)）

- ・現地確認時は、ノッチタンクの蓋を開け、汚染土壌等の内容物の取り出し作業が進められていた。また、作業用重機及び資機材はエリア内に整頓された状況で保管されていた。（写真1）
- ・確認した範囲において、ノッチタンク開放作業に伴う内容物の漏えい等は認められなかった。また、汚染土壌の入れ替え作業中の漏えいに備え、作業エリア周辺に仮堰が設置されていた。（写真2）
- ・当該エリア内における解消作業の第1期工事期間内では、全351基中、既にノッチタンク52基の汚染土壌の詰替え作業が完了しており、空になったノッチタンクは、瓦礫類一時保管エリアDDに運搬され、順次解体が行われている。
- ・エリアNのうち、詰替え作業が終了した箇所の屋根は、撤去されていた。（写真3）

※ 平成25年及び平成26年に発生したタンクエリアからの汚染水漏えいにより汚染した土壌。これらの土壌は土のう袋に回収され、ノッチタンクに入れて保管されている。

(2) 瓦礫類一時保管エリアDDの状況

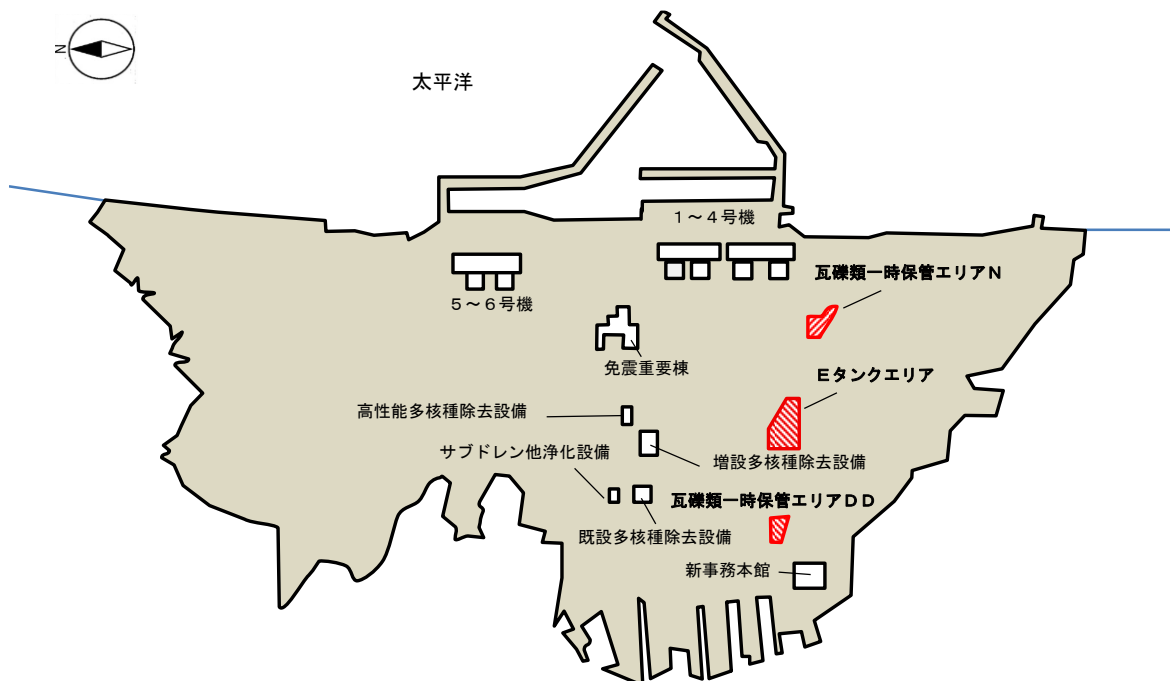
東京電力では(1)以外にも前述の計画に従い、各一時保管エリアにおける分別や破砕、コンテナへの詰め替えなどの作業を実施していることから、県では、その作業状況等を確認している。今回は、瓦礫類一時保管エリアDDの作業状況も確認した。(前回確認：[令和8年6月2日](#))

- ・現地確認時、エリア東側では、フレキシブルコンテナに収納されている廃棄物について、可燃物、不燃物、熔融対象金属等の種類ごとに分別し、コンテナへ収納する作業が実施されていた。(写真4)
- ・また、エリア西側では、瓦礫類一時保管エリアNで使用していたノッチタンクを切断し、コンテナへ収納する作業が本年度から開始されているが、現地確認時においては、その作業は実施されていなかった。(写真5)
- ・確認した範囲において、収納コンテナ等に破損は認められず、内容物の飛散・流出等の異常も確認されなかった。また、当該エリアに搬入された空ノッチタンクは、整理整頓された状態で保管されていた。

(3) Eタンクエリアの状況

東京電力は、フランジ型タンクの解体作業を進めており、Eタンクエリアでは、事故後に汚染水を貯蔵していたフランジ型タンク全49基の解体作業が6月15日に完了した。その後、当該タンク底部にあたる基礎部分の除染等が進められており、今回、その状況を確認した。(前回確認日：[令和8年6月19日](#))

- ・前回確認時点でフランジ型タンクの解体は完了しており、解体片の一部がエリア内に仮置きされていたが、今回の現地確認時には、仮置きが解消されていた。(写真6)
- ・また、タンクが設置されていた基礎部分及びエリア周辺では、基礎コンクリートの除染が進められているが、今回の現地確認時には作業は実施されていなかった。なお、基礎部分には、汚染箇所を識別するための青い塗料が塗布された箇所が残存していた。(写真7)
- ・確認した範囲において、タンクの解体が完了した箇所やその周辺に異常等は認められなかった。
- ・東京電力では、当該エリアにおいて2号機の燃料デブリ取り出し関連施設の建設を計画している。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
一時保管エリアN内における詰替え作業の状況（ノッチタンクの蓋を開放し、揚重作業を実施）



(写真1-2)
詰替えた汚染土壌の輸送用ハーフコンテナと重機配置状況



(写真 2－1)

詰替え作業用に設置した仮堰の状況



(写真 2－2)

エリアN内のノッチタンク保管状況
と仮堰の設置状況



(写真 3)

エリアN奥のノッチタンク保管状況
※詰替えが完了した手前側の屋根
は、既に撤去済みとなっている。



(写真 4－1) エリアD D東側における作業状況① (全景)



(写真 4－2) エリアD D東側における作業状況② (廃棄物の分別)



(写真5) エリアDD西側に搬入された解体予定のノッチタンク群



(写真6-1) フランジ型D1タンクの全景 ※令和8年3月25日撮影



(写真6-2) 前々回確認時の全景① ※令和8年5月28日撮影



(写真6-3) 前々回確認時の全景② ※令和8年5月28日撮影



(写真6-4) タンク解体部材の整理 ※令和8年5月28日撮影



(写真6-5) 前回確認時の状況① ※令和8年6月19日撮影



(写真6-6) 前回確認時の状況② ※令和8年6月19日撮影



(写真 7-1)
未除染の箇所の状況
青色の印を付けている。
※令和 8 年 6 月 19 日撮影



(写真 7-2)
除染済の箇所の状況
縦に削った跡が確認できる。
※令和 8 年 6 月 19 日撮影



(写真 7-3)
未除染の箇所の状況
青色の印は、残存したまま
※令和 8 年 8 月 3 日撮影

- 5 プラント関連パラメータ等確認
確認したデータについて、異常値は確認されなかった。